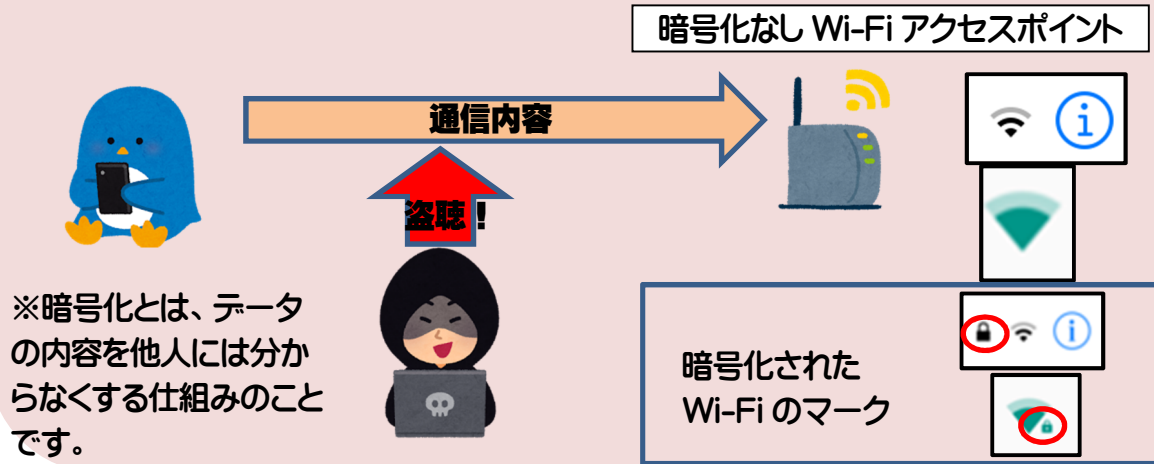


無料 Wi-Fi の使い方に気をつけて！！

通信が盗聴される！

暗号化*されていない (Wi-Fi マークに鍵がない) オープン Wi-Fi は、端末とアクセスポイントの間の通信内容が簡単に盗聴されます！

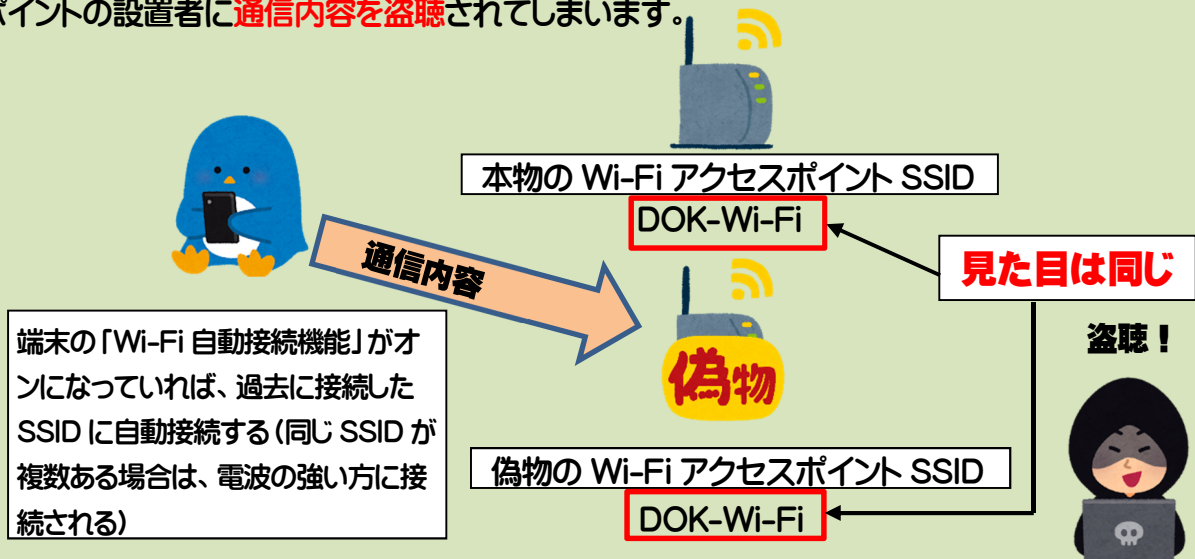
盗聴された状態でパスワードなどを入力すると、その情報が盗まれる可能性があります！



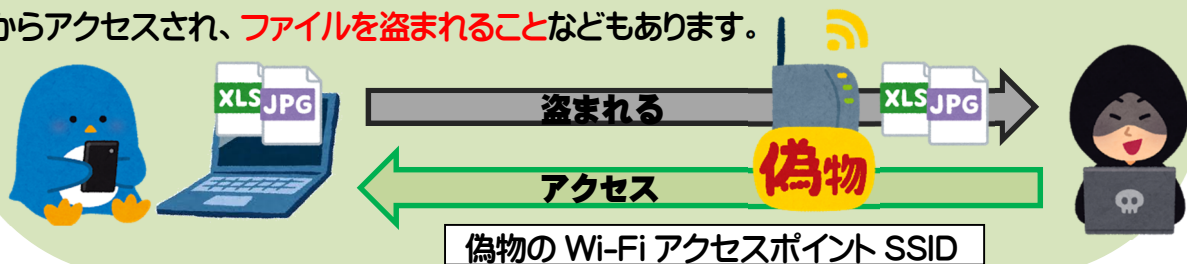
偽のアクセスポイントに注意！

アクセスポイントの名称である SSID は、自由に設定することができるので、実際に存在する SSID と同じ名称を使った、偽のアクセスポイントを作ることができます。

偽のアクセスポイントに接続してしまったら、Wi-Fi が暗号化されていたとしても、偽アクセスポイントの設置者に通信内容を盗聴されてしまいます。



また、パソコンの「ファイル共有設定」がオンになっていたら、Wi-Fi スポット内に存在する端末からアクセスされ、ファイルを盗まれることなどもあります。

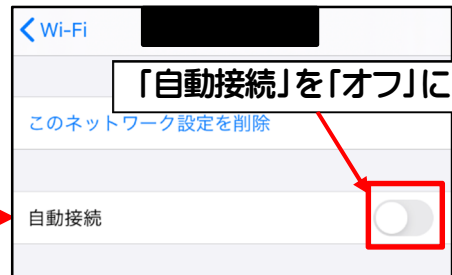
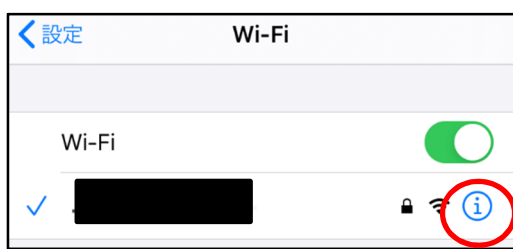


被害に遭わないためには・・・

無料 Wi-Fi (オープン Wi-Fi でも暗号化された Wi-Fi でも) を利用した通信では、パスワードなどの盗聴されて困る情報を送信しない！

スマートフォンの「Wi-Fi 自動接続」はしないようにして、SSID はその都度確かめてから繋ぐ

ios の場合 「設定」→「Wi-Fi」を選び、



android の場合 「設定」→「Wi-Fi」を選び、



以前に接続した SSID の一覧が表示されるので、個別に削除



- ・パソコンの「ファイル共有機能」をオフにする
- ・パソコンの「Wi-Fi 自動接続」をオフにする

「通知領域」のネットワークアイコンを選択

